

入選

オタンコナスありがとう

福島県
郡山市立安子島小学校 五年

前田 颯斗

ぼくの母さんは、かん護師です。家では、自分のことをオタンコナスと呼んでいます。いつもは、とっても家事が得意な母さんです。特に料理が得意です。ぼくのおやつに、アップルパイやタルトを作ってくれます。甘い物好きの父さんと取り合いながら食べています。でも、ハンバーグに玉ねぎを入れられるような変な失敗をすることもあります。そんな母さんを見てると病院で働いているときに、変な失敗をして、本当にオタンコナスになっているんじゃないかと心配になります。

今から四年前の一年生の時に、一回だけ、父さんと母さんの職場に行きました。母さんの働く姿をこっそりのぞきました。その時の母さんは、てきぱきと真剣に仕事をしています。その姿を見て、ぼくは、家にいるときの母さんとはかなり違うことにびっくりしました。家では、自分のことをオタンコナスと呼んでいるので、大じょう夫かなと思っていました。けれども、まじめに仕事をしていたので安心しました。

ふだんの母さんは、

「颯斗が大きくならたら、やりたい。」

と言っていた料理教室とパン教室に通い、料理のレパトリーをふやしています。コナツミルクを使ったエビカレー、生春まき、あんドーナツ、マドレーヌなどを作ってくれます。特にエビカレーは、家族三人でキャンプの時に外で食べると、味がまるやかに最高です。

母さんは、ぼくと言い争いになると、口ぐせの、「もう何も作ってあげない。」

と言います。けれども、すぐに機げんを直しておいしい料理を作ってくれます。ぼくは、次はどんな料理を作ってくれるのかなあと楽しみにしています。

最近、ぼくは新しいゲームを買ってもらい、母さんは、ぼくといっしょに、ゲームをやり始め、いつの間にか、ぼくより母さんの方が夢中になってしまいます。しまいには、ぼくと母さんが、ゲームの取り合いでけんかになってしまいます。そのけんかを見ていた父さんは、

「二人は、まるで姉弟のようだ。」

と言っていました。母さんも、

「颯斗は、ひとりっ子だから、お姉さん代わりをしてあげているの。」

と都合よく答えています。ゲームの話で盛り上がることで、母さんと話をしていると楽しいです。

ぼくは、自分のことをちよっとドジなオタンコナスと言っている母さんが大好きです。

かん者さんの命を預かる大変な仕事をしながら、料理教室に通い、父さんとぼくの世話もしている母さんは、本当にすばらしいです。

母さん、いつもありがとう。いつまでも料理上手な健康な母さんでいてください。